

せきね 知っ得! 通信

7

July

2016

社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所
〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049
メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com

第 70 号 発行：2016 年 7 月

高校野球の熱戦が楽しみな季節です。しまって行きましょう!!

数年前、大西レポート編集長の大西勇さんが、「一流と二流の違い」というテーマで北越高校野球部と後援会向けに講演したそうです。その内容を収めた小冊子をいただきました。

福井県出身で甲子園球児だった大西さんが、高校球児だけでなく、新潟県の経営者にも通じる興味深いお話をされていたのでご紹介します。



新潟県の人はやさしい

24歳の時、日刊工業新聞の記者として新潟に赴任して、新潟日報の甲子園の記事が非常にワンパターンだと気づいた。

新潟県代表の一回戦の相手が決まると「相手にとって不足なし」、一回戦が終わると「負けて悔いなし」。甲子園での勝率が最低水準だった頃、毎年毎年この繰り返しだった。

一番印象的だったのが、新発田農業高校が一回戦で智弁和歌山に負けたとき。日報の夕刊に「新発田農、善戦及ばず」と見出しにあり、「惜しかったのかな?」と思ったら14対4の大差で負け。福井新聞なら「ああ、無残」とか「屈辱の大敗」と書く。他の県でもそうだろう。ところが、新潟県は勝っても負けても「よくやった」…これでは、強くない。経営の世界でも同じことが言える。

新潟県は豊かだから・・・

昔から根付いている県民性。他県と比べ豊かであるため、まじめでおとなしく優しい。「豊か」というと「えっ?」と思うかもしれないが、貧乏な福井県から見るとハッキリわかる。昔から北陸はそうとう貧乏だった時代があったらしく、食い詰めると福井県人は詐欺師になり、石川県人は乞食になり、富山県人は泥棒になるという言葉がある。

今はそんな時代ではないが、別の言葉で言えば、北陸三県の人には「生きていくためなら何でもやる」ハングリー精神があるということ。

一方、新潟県は昔から食べるものが豊富。米をはじめ、米から作るモチも米菓も酒も全国トップクラス。山菜でも野菜でも果物でも何でもとれる。海岸線が長く魚介類も豊富。食料自給率は100%に近い。最低限、食うものと寝るところがあるのが新潟県。恵まれた環境にいるから、勝負事は「苦手、避けよう」とする人が多い。

高校野球だけでなく経営の世界でも顕著で、ハングリー精神の不足で競争に敗れ、倒産するのを「新潟病」という。



次ページへ続く

執念の差が勝敗を分ける

柔道のやわらちゃん（谷亮子さん）が、初めてオリンピックに出たとき、記者会見で目標を聞かれ「最高で金、最低でも金」と答えた。その後も、「田村でも金、谷でも金」「ママでも金」と「金しかない」という目標を公言した。その理由は、自分を土壇場までトコトン追い詰め、もう後がない状態にし、「火事場のくそ力」を出すため。実際に、オリンピックで2個の金メダルを獲得した。

甲子園まであと一步。有力校は実力に差がない。でも、試合をすると勝ちと負けに分かれる。その差は何か？勝つことに対する執念の差である。目標を天下に公表して退路を断ち、「火事場のくそ力」を引き出せ。その差が勝敗を分ける。

人より一步先の目標

日本の麻雀王、桜井章一さんは「勝負強い人間と普通の人間の違い」という経営者向け講演の中で、次のように言っている。

「正月の箱根駅伝で、ゴールに着いてバタンと倒れるのは普通の人間。勝負強い人間は絶対に倒れない。何故なら、勝負強い人間は、目標を一步高く、一步前に、一步先に設定しておく。22キロの目標設定で、20キロのゴールで倒れるわけがない。」

「人より一步先」。これが、勝負の世界では決定的な差になる。プロ野球でも3割打てば一流、2割5分では二流。10打席中、ヒット3本と2.5本。わずかな差だが大違い。

人より一步先の目標が大切だとわかったら、皆さんの目標も変わってくるでしょう？

レギュラーになれない人へ

多くの野球部員がいるが、レギュラーは9人。
あとの多くは、試合に出られない人である。
そんな人に私は言いたい。



ベンチにいる控え選手もスタンドで応援する選手も、
みんな本当は試合に出たい。

家に帰れば、両親や兄弟が何も言わずそっとしてくれる。その配慮がたまらなく辛い。後輩がレギュラーになり活躍しているのに、先輩の自分は応援。悔しい。野球の練習は苦しいが、それ以上に苦しいのはこうした精神的な苦痛である。自分もレギュラーを奪われたのでよくわかる。

第48代横綱の大鵬は「巨人・大鵬・卵焼き」という言葉が流行り、頭に来た。金のかで、有力選手を集めた巨人と、努力、努力、努力で横綱になった自分を同じように見られてはたまらない。大鵬は、毎日四股を500回・鉄砲を2000回引退まで続けた。

その大鵬は言った。

「努力しても効果がないといってやらなくなる人がいるが、これは間違いだ。努力は必ず報われる。すぐには報われなくても5年、10年の長い間には必ず報われる。相撲で報われなくても別の形で報われる。この世で報われなくてもあの世で報われる。だから努力を怠ってはいけない」

卒業して、社会人になればなったで辛いこともあるが、そのときに野球部の経験が生きてくる。「努力は必ず報われる」

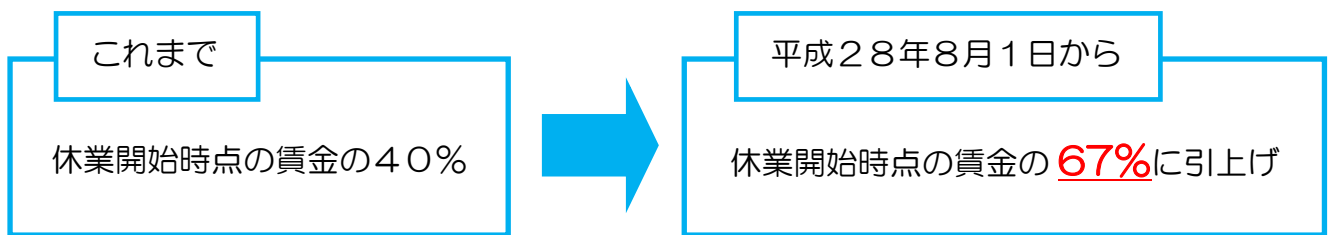
参考になれば幸いです！

■ 雇用保険料率の引下げ

平成 28 年度の失業等給付の雇用保険料率を**労働者負担・事業主負担とも 1/1000** ずつ引き下げます。
併せて、雇用保険二事業の保険料率（事業主のみ負担）を 0.5/1000 引き下げます。

■ 介護休業給付の給付率の引上げ

8 月から介護休業を取得した際に支給される**介護休業給付の給付率**が、以下のとおり変更になります。



☆ 8 月から介護休業給付金の給付率が引き上げられます。
介護休業の期間については、法令上、賃金の支払い義務はありませんが、もし、支払うとしても、賃金と介護休業給付金との合計が、休業時点の賃金の 80% を超えないように、給付金の支給額が調整されます。
つまり、賃金を支払う場合は、その額を、休業時点の賃金の 13% (80% - 67%) とすると最も効率的ということになります。

■ 介護を応援！ ～航空運賃の優遇サービス～



実家で暮らす親が要介護・要支援になり、その身の回りの世話をするために頻繁に帰省する子どもは少なくありません。遠距離で飛行機を利用すると家計の負担は重くなりますが、各航空会社には介護のために搭乗する家族に対して運賃を割り引くサービスがあります。

航空会社	優遇サービス
日本航空 (JAL) 「介護帰省割引」	普通運賃からの割引率は最大 41%。 要介護・要支援者の子や孫、兄弟姉妹とその配偶者などが対象。
全日本空輸 (ANA) 「介護割引」	割引率は約 35%。 介護保険証、戸籍謄本などの画像データがあればネットで利用登録できる。
スターフライヤー 「介護割引運賃」	割引率は 36～43%。 介護者の人数制限はない。要介護・要支援の本人も 1 路線を選んで利用できる。
ソラシドエア 「介護特別割引」	割引率は 3～4 割。 要介護・要支援の本人も利用可。65 歳以上なら「シニア割」の方が運賃が安い。

※ ただし、当日便のチケットを買うのであれば、早期予約の運賃と比べてみることをお勧めします。

◆ 熱中症による救急搬送者数が急増

2016年の夏は、猛暑となることが予想されています。

5月24日の消防庁の発表によると、5月16日から22日にかけての熱中症による救急搬送者数は全国で688人。前年の同時期は420人で、200人以上も上回る結果となりました。

統計推移を見ても、熱中症による救急搬送者数は毎週増加しています。

ひどい場合には生命の危険もある熱中症。夏本番を迎える前に、対策を講じておくことが大切です。



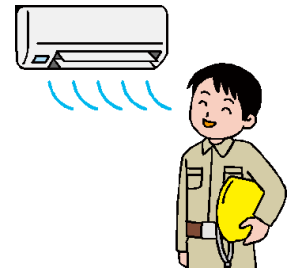
◆ 熱中症は屋内でも発生する!

熱中症は、夏の強い陽射しの下で作業をするときだけではなく、屋内にいるときでも起こることがあります。

過去の熱中症死亡例について職業別にみると、建設業がその40%を占めていますが、続いて、製造業が約20%を占めていました。屋内の作業であっても、高温多湿の環境で長時間労働すれば熱中症の危険性が高まります。

熱中症は、誰でもかかる可能性があります。正しい予防方法を知り、注意しておくことで防ぐことができます。

こまめに水分をとること、大量の汗をかくときは塩分をほどよくとること、気温や湿度を気にかけること、暑さを過度にガマンせず室温を適度に下げることなど、職場で再確認しておくことで、熱中症の発生を予防することができます。



消費税が10%にならなくてもやるそうです!

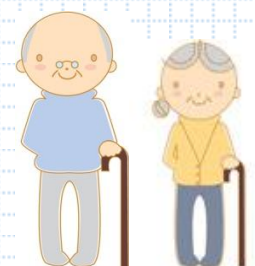
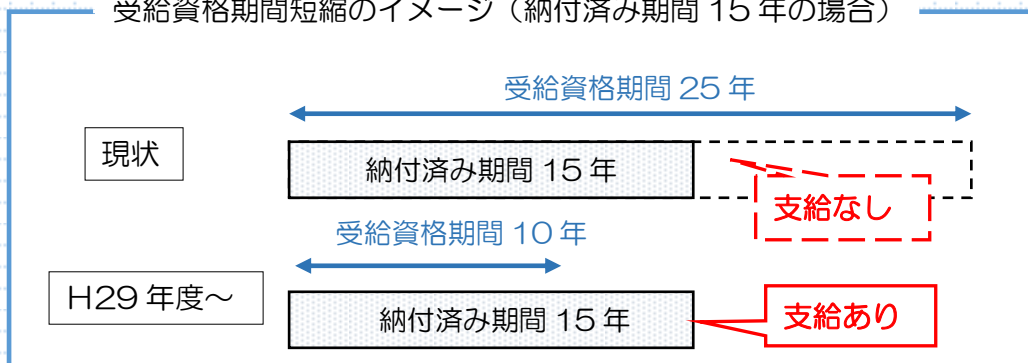
年金受給 来年度から納付10年で

年金の受給資格を得るのに必要な保険料の納付期間が、来年度より現行の25年から**10年に短縮**されます。

この短縮で、非正規労働者の増加など納付期間が足りずに年金を受け取れない無年金者に対する救済措置を強化します。現在42万人いる無年金者のうち**約17万人が年金を受給できる見通し**です。

加入期間要件を緩めると保険料を10年しか納めない人が増えかねませんが、10年間納めただけではもらえる年金額は月1万6千円程度と、老後の生活保障としては不十分な水準にとどまります。

受給資格期間短縮のイメージ（納付済み期間15年の場合）

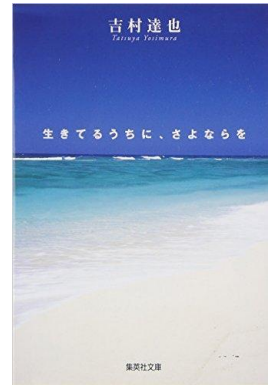


「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

書籍 生きてるうちに、さよならを 吉村 達也

きれいな印象のタイトルと表紙ですが、中身は違います。親の会社を立て直し、一代で大企業に育て上げたワンマン社長が、生前葬を企画するところから始まりますが、それどころではない大変な事実が発覚し、話は意外な方向に展開します。ミステリー的な要素も加わり、最後は予想もしないドンデン返しがあります。

1章ごとに違う人に宛てた手紙の形式で書かれており、読みやすい本。しかし、人は死んだ後、どうにも何にも口出しできない…はがゆいものですね。最終章の物分かりが良すぎる息子には納得できませんが、かなり楽しめるストーリーです。



柏崎市高柳 ^{かどいで}越後門出和紙 代表 小林康生氏

ご縁があり、「高志の生紙工房」を訪ね、和紙職人の小林康生氏のお話を伺う機会を得ました。

20代から地域おこしに深く関わり、都市と農村との交流運動、かやぶき家の修復やその利活用を今日まで続けていらっしゃいます。

清酒「久保田」の和紙ラベルに採用され、その生産が地域雇用を生み出しているそう。

原料の楮^{こうぞ}がなりたい紙を育てるため（作るのではなく育てる）、「工房」をオープンさせ、サントリー美術館の壁紙などを手がけ、ブラジル・サンパウロの「ジャパン・ハウス」にも参加。



小林さんのお話がとても知的で非常に面白い！

- ①マニュアルや数値化といった客観的な視点と、
- ②勘や思いといった主観的な視点…という2つが存在。

人も社会もこの2つの間の適当探しの旅をしている。しかし今日は、①の視点に偏りすぎる傾向。①はわかりやすく現代には必要不可欠であるが、②もまた欠かせない「対となる正解」なのである。



小林さんの祖父は、時計など持たずに田畑の仕事に出かけ、キッチリ 11:30 に昼上がりした。しかし、時計を持つ世代の小林さんの父や自分は、それ無しに同じ行動することなどできない。祖父のように、太陽の光や影を読む必要がないから読めなくなった。勘が鈍ったのである。

小林さんは、五感を豊かにすることが、未来にも必要と考え「大地の学校」の構想のカタチにしつつあります。「本物のナチュラルリスト」のお話を聞いた貴重な体験でした。

